

不二製油グループ本社 WEB スモールミーティング

「持続的な成長への技術アプローチ～不二製油の技術と中長期の種まき～」

開催日時：2020/12/21 14：15～15：15

プレゼンター：未来創造研究所長 中村 彰宏

<質疑応答概要>

Q.今中計において、安定化 DHA・EPA や USS 等の固有技術の収益化が遅れている背景は何か

A.安定化 DHA・EPA については非常に特徴的な技術であるが故に、パートナーと共に具体的な商品を開発しており、そこに想定以上の時間がかかっている。足元では、海外展開も平行して準備を進めている。また、商品形態に応じた抗酸化技術のノウハウは蓄積が進んでおり、今後の商品拡大はしやすくなっている。

USS 技術については、ミルクツリーのような、「ソイツリー」食品の展開が進み、付加価値を高めた製品群の拡大と展開を推進しているほか、これから出てくるおいしさの技術の核にも活かされている。

Q.経年実績では粗利率は横ばいだが、粗利率が高い新製品の創出意識はあるのか

A.強く意識している。既存製品については、プロセス改良などを進めるほか、長期研究領域においても高付加価値の創出を意識した研究テーマの設定を行っており、粗利率は今後少しずつ上がってくるであろう。

Q.チョコレート事業をグローバルで急拡大させたことで、研究領域もチョコレート事業にリソースが割かれ、中長期の研究領域の方向性に支障が生じていないか。

A.ブラマー（アメリカ）にもハラルド（ブラジル）にも従来からの固有の開発部隊があり、現地人材の育成を進めることが強化施策の中心となる。短期的には油脂の技術人材の配置などを進めているが、長期戦略に携わる人材リソースへのひずみは生じていない。